

県政報告駅前版 平成 29 年 2 月号

千葉県議会議員 商工労働企業常任委員長

小池まさあき

事務所 成田市東町 155-3 TEL 0476-22-0688 FAX 0476-36-8538
E-mail koike@ngy.3web.ne.jp



北千葉道路 いよいよ成田へ 印西市若萩～成田市北須賀 4.2km が開通

去る2月19日、国道464号北千葉道路の印西市若萩～成田市北須賀間4.2kmが開通しました。

これにより北千葉道路が本格的に成田市内へとつながり、千葉ニュータウンと成田地域を結ぶ新たな幹線道路として地域の活性化や交通処理能力の向上と円滑化、そして救急医療、防災機能の強化など、大きな役割を担うものと期待が寄せられています。

県は、未着工の鎌ヶ谷以西の西

側区間について国に対して有料道路化による整備促進を要請し、具体的な検討が進められる方針が打ち出されました。また、成田市内の国施行区間の開通を2年後に予定し、県施行2期区間についても新年度より具体的な工事を開始する予定です。

今後県として、成田国際空港と県北西部を結ぶ最重要な道路アクセスとして重点的に整備を進めるように強く要請して参ります。



開通初日に大渋滞発生!! 県当局に対策の実施を要請しました。

開通初日は、16時30分より一般車の通行が可能となりましたが、直後から渋滞が発生、翌日も規模は縮小したものの渋滞の発生が見られました。これに対して小池まさあきは、北千葉道路建設事務所に対して対策を要請したところでした。

今回は早期に建設効果を発現させるために、一部を暫定2車線としており、4車線から2車線へ車線を縮減させる部分を印西市吉高の既存道路との交差点としたこと、それにより信号の切り替わるサイクルも長くなったことなどが渋滞発生の要因と考えられています。

多くの車両が流入し、この区間の開通に対する期待の大きさも物語っていましたが、何よりも早期に計画通りの4車線化の実現と全線の開通を実現しなければならないと強く感じた次第です。

北千葉道路とは

東京外かく環状道路と成田国際空港を結び、首都圏北部と成田国際空港間のアクセス時間を大幅に短縮する新たな道路アクセスルートとして、都市再生プロジェクトに位置付けられている約43キロメートルの道路。西側区間の東京外環道北千葉 JCT～小室 IC間 15km について、国に対して一般道を併設した有料道路制度を活用しての早期の完成を求めたところで、昨年12月には「道路協議会」が18年ぶりに開催されたところで、西側区間の整備も具体的に動き出す予定です。

新年度 成田空港機能強化への対応で県担当課内に新組織を設置

昨年9月、成田国際空港の更なる機能強化案が示され、成田市及び空港周辺関係市町において住民の理解を得るために説明会が開催されています。

小池まさあきは、これまで本会議の一般質問を中心に、成田空港の機能強化の必要性を訴えるとともに、その実現のためには県として空港周辺地域の環境対策や交通網整備、そして地域振興策を示し積極的に係る必要があることを訴えてきました。

また、これらの事務事業を進めるためにも、成田国際空港を所管する担当課組織の増強を訴えてきたところですが、新年度より総合企画部空港地域振興課内に「空港地域整備・広域活性化班」の新設が決定しました。

既に飛行時間制限の緩和について騒音下各地域から厳しいご意見もいただいているところですが、県として最重要政策である成田国際空港についてその課題解決のために全力を挙げる必要があるため、新たな組織を含めた県庁組織が機動的かつ積極的に行動するように引き続き要請して参ります。

成田空港の機能強化策とは

- (1) 3,500mの新たな滑走路の整備
- (2) B滑走路を北側に1,000m延伸
- (3) 飛行制限時間を現行6時～23時から5時～25時へ3時間拡大

成田空港関連の一坪用地訴訟 一審で県の主張認められる

千葉県企業庁において成田国際空港北側に構想した成田国際物流複合基地は、その用地取得が難航し結果としてその構想自体が頓挫しましたが、空港敷地に隣接した用地に関しては県が多くを取得し空港機能を担う重要な土地として活用が期待されてきました。

しかしその中に、空港建設反対闘争の手段として用いられたいわゆる一坪共有地が存在し、県では長年かけてその持ち分を取得する努力を重ねてきました。

そして今般、原野261㎡について県が所有する33分の31以外の共有持ち分33分の2について、県がその引き渡しを求めた訴訟において県の主張がほぼ認められた一審判決が出ました。

成田空港の閣議決定から今年で51年、開港から39年を経過するという現在もなお一坪共有地をはじめ用地問題が残っていますが、引き続き空港の発展とその良好な運営のためにも問題が解決するように県としても努力を続けていかなければなりません。

幕張メッセ 利用料収入が過去最高 税金投入ゼロ 開業以来初

1989年(平成元年)に東洋一の規模で開業した幕張メッセ。多くの見本市やイベントが開催されてきましたが、これまでその運営費の一部を千葉県と千葉市が負担してきました。

ここ数年は堅調な利用が続いてきましたが、その営業努力が実って今年度の利用料収入は過去最高となり、県と千葉市からの運営経費の負担は不要で、初めて税金投入ゼロを達成することとなりました。

来年度はオリンピック・パラリンピックを控えて大規模な改修にも着手するための負担が生じますが、年間の営業経費の補てんが不要となったことは大いに歓迎すべき事実です。

今後も引き続き関係機関の努力を結集して、更に稼働率向上を目指していくべきであります。

ごあいさつ

2月1日に開会した定例議会も3月1日をもって閉会します。この間、新年度予算や補正予算を中心に多くの議論をして参りましたが、山積する県の課題を改めて実感した議会でもあります。それらの多くの諸課題に対して引き続き県議会に議席を頂いている責任を果たすように努力して参ります。

千葉県議会議員 小池正昭

小池まさあきの活動ブログ 毎日更新中

小池まさあき 検索

Facebook と Twitter でも情報発信中！ SNS で小池まさあきと交流してみませんか！